沼津工業高等専門学校
数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）　取組概要

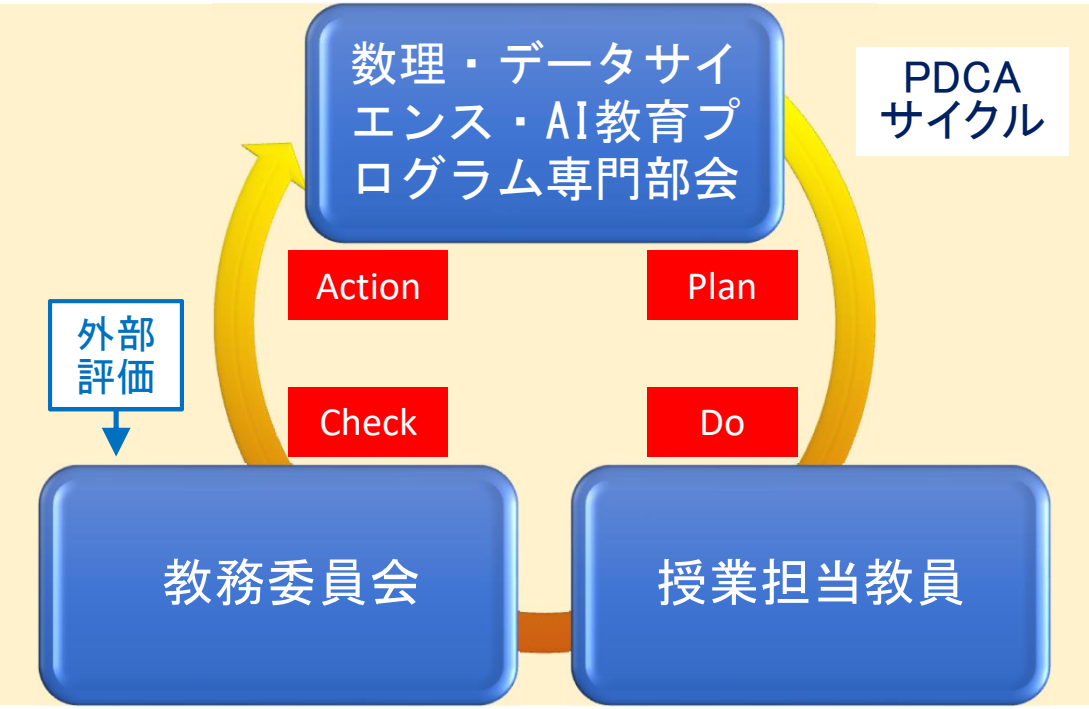
【プログラムの目的】

学生の数理・データサイエンス・ＡＩへの関心を高め、それを適切に理解して活用できる基礎的な能力を育成すること及び数理・データサイエンス・ＡＩに関する基礎的な能力の向上を図る機会の拡大に資することを目的とする。

【身につけられる能力】

・デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIの基礎的能力を身につけ、その有効性を理解できる。
・社会等の実データから学んだ知識をもとに、様々なデータの読解力を身につけ、学修した知識やスキル等を説明・活用できる。
・情報セキュリティや情報倫理に留意しつつ、得られるデータについて人間中心の適切な判断ができる。

運営・改善
・計画立案
・改善、進化



自己点検・評価
・授業評価、分析
・外部機関評価

魅力的な授業・実習
・データ処理に関する基礎
・AI×データ活用の実践